

第114期 中間報告書  
2017年7月1日～2017年12月31日



# ULVAC REPORT



**ULVAC**

証券コード：6728

# トップメッセージ

## 経営基本理念

アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す

## 経営方針

- 顧客満足の増進
- 生産技術の革新
- 独創的な商品開発
- 自由闊達な組織
- 企業価値の向上



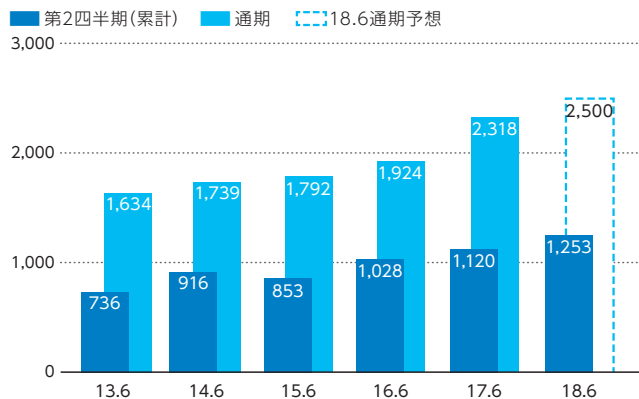
## 中間期は半導体製造装置を中心に 予想を大きく上回る実績 通期予想を上方修正

スマート社会化の潮流の中でイノベーションに挑戦し、  
新たな需要を創出し続ける

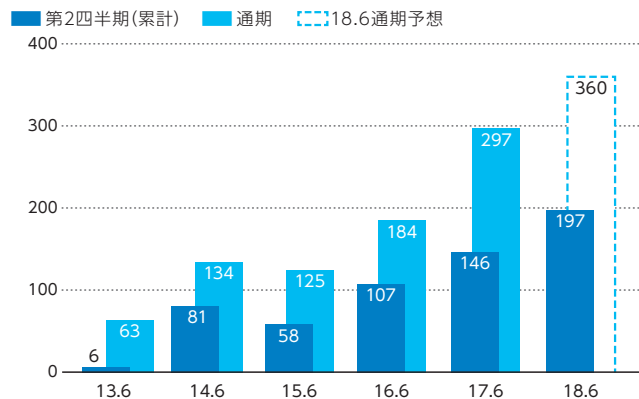
代表取締役執行役員社長  
岩下 節生

## 連結業績ハイライト ※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

### 売上高 (単位: 億円)



### 経常利益 (単位: 億円)



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期(当第2四半期連結累計期間)における経営環境は、アルバックグループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリメーカーにおける設備投資が増加しました。またFPD(フラットパネルディスプレイ)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化が進み、大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として拡大、スマートフォン向けOLED(有機EL)パネルの設備投資とともに高水準で推移しました。

アルバックグループにおける当中間期の連結業績は、半導体・電子部品製造装置に加え、FPD製造装置の増加を主因に、受注高は1,463億円、売上高1,253億円と前年同期を上回りました。損益につきましては、売上高増加が寄与し、営業利益187億円、

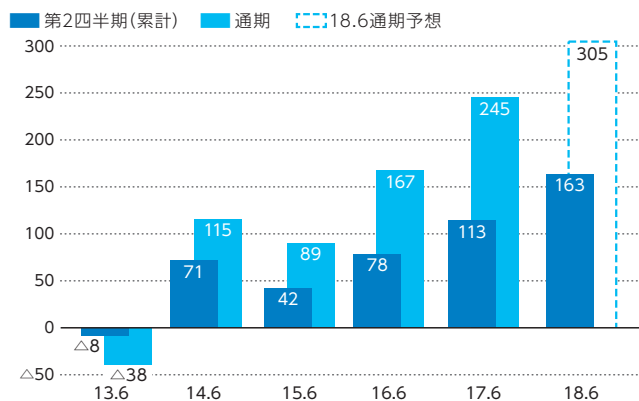
経常利益197億円、親会社株主に帰属する四半期純利益163億円とこちらも前年同期を上回りました。

通期予想に関しましては、好調な上期の実績を受け、売上高は2,500億円、営業利益は355億円、経常利益は360億円、親会社株主に帰属する当期純利益は305億円と、それぞれ上方修正いたしました。売上高、各利益項目は過去最高を更新の見込みです。

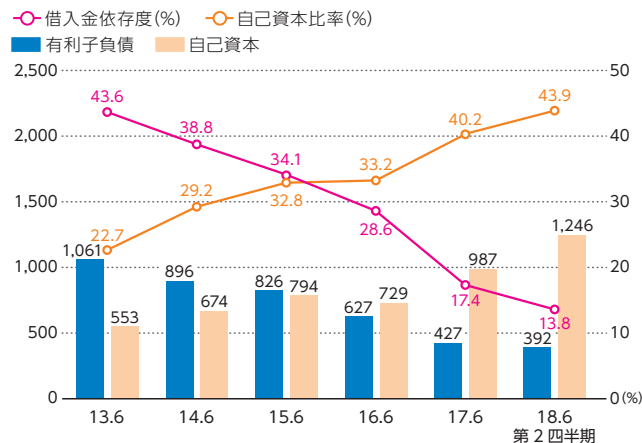
アルバックグループは、大型TV向けLCD(液晶)、スマートフォン向けOLED等の活発な設備投資を背景としたFPD製造装置の旺盛な需要に着実に対応するとともに、スマート社会化の潮流の中でイノベーションに挑戦し、半導体・電子機器事業において、新たな需要を創出し続けることで、持続的な成長と企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:億円)



## 自己資本・有利子負債の推移 (単位:億円)



# 今後のスマート社会を見据えて

アルバックの真空技術は、スマート社会の実現に向け、  
基盤となる多くの技術を支えています。

## スマート社会



自動運転



農業



医療



仮想通貨



スマートシティ

介護、  
ブロックチェーン  
など

## スマート社会 実現のための 基盤技術



IoT



クラウド



AI



ロボット



ビッグデータ



ドローン

など

## 半導体、電子機器・部品メーカー

直面している技術課題 「小型・高速・大容量・低消費電力」

## アルバックの真空技術（薄膜形成、微細加工、極高真空、新素材、極低温など）

### 半導体：

メモリー、ロジック  
3D-NAND、PCRAM、CPUなど



半導体製造装置

### 機能デバイス：

センシング、通信（5G）、表示  
MEMS、SAW／FBARデバイス、OLEDなど



電子部品/  
FPD製造装置

### エネルギー：

発電、蓄電、変換  
太陽電池、全固体電池、パワーデバイスなど



電子部品/  
電池製造装置

真空コア技術、新材料、表面処理、分析  
ポンプ、真空計、スパッタリングターゲット、洗浄、分析など



キー  
テクノロジーを  
有する  
アルバックに  
大きな  
チャンス!

# アルバックは、 「スマート化」の流れを つかみ、成長の機会を 拡大していきます。

## お客様の技術課題の解決に貢献

自動運転やIoT、クラウド、ビッグデータ、AIなど、高速データ処理・高速通信を可能にする技術の発展により、より快適で便利なスマート社会の時代が到来しようとしています。スマート社会実現のキーとなるのは「小型・高速・大容量化、低消費電力化」であり、アルバックのお客様である半導体・電子機器メーカーの技術課題となっています。アルバックはお客様の課題の解決に貢献すべく、真空技術をコアとした製造装置や製造ソリューションの共同開発に取り組んでいます。

## より多くのお客様の信頼を獲得

2014年、アルバックは、「スマート化」をはじめとする社会の変化や市場のニーズの動向を捉え、技術・製品の開発戦略に反映させていく組織として、「グローバル市場・技術戦略室」を立ち上げました。グループ間や外部とのコラボレーションにより、開発の質・量・スピードを拡大したことにより、アルバッ

クの総合力や技術プラットフォームの幅広さが評価され、最終製品メーカーのお客様からの依頼も拡大しています。

## 「スマート化」市場で存在感を高める

「スマート化」の流れは、アルバックに大きな成長の機会をもたらそうとしています。例えば車の自動運転の分野では、現在の安全支援段階では数個のカメラ、レーダ、センサが搭載されているに過ぎませんが、5年後の準自動走行段階では20個を超え、将来の完全自動走行段階では30個を超えることが予想されています。さらに、インターネットに接続される家電などの身の回りの製品や車載システムの基盤として、爆発的なデータ通信量に耐えられる5G(第5世代移動通信システム)の実現も期待されています。このように半導体・電子機器分野は、今後5年ほどで技術革新が大きく進展し、市場の拡大も続くと思われています。私たちは成長の機会を確実に捉え、「スマート化」市場での存在感を高めていきます。

シニアフェロー  
グローバル市場・技術戦略室  
室長

鄒 弘綱



# 連結財務諸表

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2017年12月31日現在	前連結会計年度 2017年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,912	1,697
現金及び預金	697	564
受取手形及び売掛金	738	705
たな卸資産	360	302
繰延税金資産	55	60
その他	72	73
貸倒引当金	△9	△8
固定資産	924	756
有形固定資産	628	603
建物及び構築物	324	322
機械装置及び運搬具	142	145
その他	162	136
無形固定資産	36	36
投資その他の資産	260	117
投資有価証券	187	44
繰延税金資産	25	23
その他	49	51
資産合計	2,836	2,453
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,204	1,160
支払手形及び買掛金	535	488
短期借入金	229	302
その他	440	369
固定負債	323	244
長期借入金	163	125
繰延税金負債	57	14
その他	104	105
負債合計	1,527	1,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,122	983
その他の包括利益累計額	124	4
非支配株主持分	63	62
純資産合計	1,309	1,049
負債純資産合計	2,836	2,453

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 億円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 2017年7月1日から 2017年12月31日まで	期別 前第2四半期 連結累計期間 2016年7月1日から 2016年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	215	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70	△96
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	127	△3
現金及び現金同等物の期首残高	476	449
現金及び現金同等物の四半期末残高	603	446

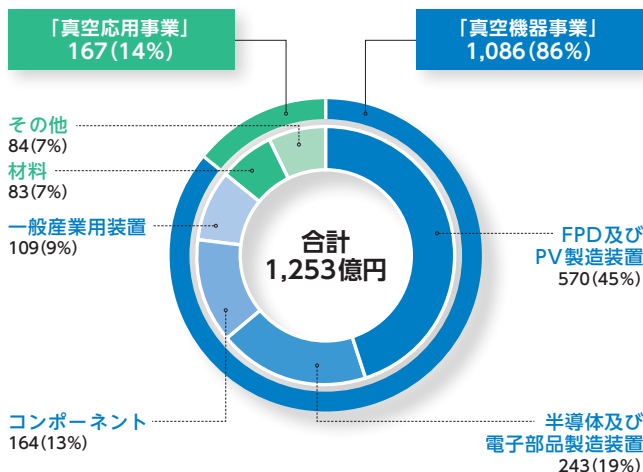
## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 億円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 2017年7月1日から 2017年12月31日まで	期別 前第2四半期 連結累計期間 2016年7月1日から 2016年12月31日まで
売上高	1,253	1,120
売上原価	881	807
売上総利益	371	313
販売費及び一般管理費	184	169
営業利益	187	144
営業外収益	16	10
営業外費用	6	7
経常利益	197	146
特別利益	20	—
特別損失	1	5
税金等調整前四半期純利益	216	141
法人税、住民税及び事業税	41	23
法人税等調整額	5	△2
四半期純利益	170	121
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	163	113

## 事業別売上高

(単位: 億円)



# 会社データ / 株式の状況

## 会社概要 2017年12月31日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,255名(連結6,220名)

## 役員 2018年1月1日現在

代表取締役執行役員社長	岩下 節生
取締役会長	小日向久治
取締役執行役員副社長	坊 昭範
取締役専務執行役員	本吉 光
取締役専務執行役員	藤山 潤樹
取締役(非常勤)	御林 彰
取締役(非常勤)	内田 憲男
取締役(非常勤)	石田 耕三
専務執行役員	末代 政輔
常務執行役員	白 忠烈
常務執行役員	佐藤 重光

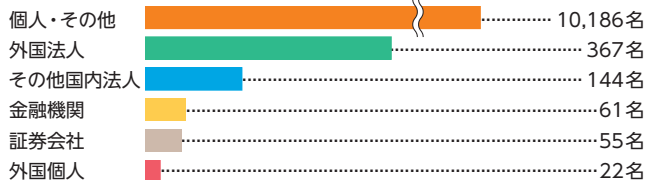
執行役員	齋藤 一也
執行役員	梅田 彰
執行役員	松本 亮
執行役員	柳澤 清和
執行役員	蔡 有哲
執行役員	池田 和夫
執行役員	萩之内 剛
執行役員	近藤 智保
監査役	高橋 誠一
監査役	伊藤 誠
監査役(非常勤)	浅田 千秋
監査役(非常勤)	宇都宮 功

## 株式の状況 2017年12月31日現在

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	10,836名

## 所有者別株主数

合計10,836名



自己株式:1名

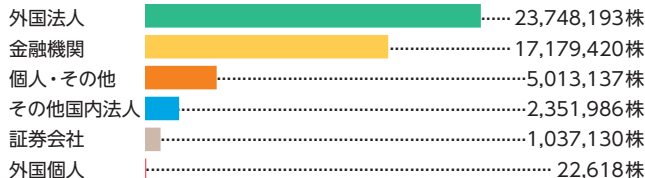
## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,602	5.27
株式会社みずほ銀行	1,916	3.88
株式会社三井住友銀行	1,864	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,747	3.54
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	1,087	2.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	910	1.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	802	1.63
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	785	1.59
TAIYO HANEI FUND, L.P.	770	1.56

(注)持株比率は自己株式(3,454株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式数

合計49,355,938株



自己株式:3,454株

## 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

### 住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社への  
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求  
ホームページアドレス  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 配当金のお受取り方法について

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様には、確実に配当金をお受取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

## IRカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第2四半期 決算発表			第3四半期 決算発表			期末 決算発表	定時株主総会			第1四半期 決算発表

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。



<https://www.ulvac.co.jp/>



**ULVAC** 株式会社アルバック

本社・工場 〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 TEL.0467-89-2033

